



□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1)  は、すごくおいしいと<sup>おも</sup>思います。

(2) わたし（ぼく）は、 は<sup>にがて</sup>苦手ですが、

は<sup>とくい</sup>得意です。

(3) いまは、 に<sup>きょうみ</sup>興味があります。

それは、 だからです。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1)  は、あたたかい<sup>かん</sup>感じがします。

(2) わたし（ぼく）は、 <sup>ため</sup>為に、

<sup>がんば</sup>を頑張ろうと<sup>おも</sup>思っています。

(3) <sup>がっこう</sup>学校では、 <sup>たの</sup>が楽しみです。

それは、 だからです。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1) の<sup>とき</sup>時は、ちょっとどきどきします。

(2) わたし（ぼく）は、の<sup>ため</sup>ために  
することになっています。

(3) <sup>しゅんかしゅうとう</sup>春夏秋冬の<sup>なか</sup>中では、の<sup>たの</sup>楽しみです。

それは、だからです。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1) <sup>がっこう</sup>学校で  ができた<sup>とき</sup>時は、  
すごくうれしいです。

(2)  は  なので  
<sup>かんきょう</sup>環境の<sup>こと</sup>事を<sup>かん</sup>考えて  しています。

(3) <sup>いちにち</sup>一日の<sup>なか</sup>中で、  の<sup>じかん</sup>時間が<sup>たの</sup>しみなのは、  
 だからです。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1) 家<sup>いえ</sup>で  <sup>とき</sup>時は、少し<sup>たいへん</sup>大変です。

(2) 私<sup>わたし</sup>（ぼく）の<sup>す</sup>住んでいるところは  が  
<sup>ゆうめい</sup>有名です。他<sup>ほか</sup>には、  などがあります。

(3)  をすることは、  <sup>ため</sup>の<sup>ため</sup>に  
<sup>よ</sup>良いことです。他<sup>ほか</sup>には  も<sup>おも</sup>良いと思<sup>おも</sup>います。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1) <sup>あめ</sup>雨がふっても、 <sup>あんしん</sup>があるので安心です。

(2) <sup>わたし</sup>私（ぼく）の<sup>がっこう</sup>学校には、 があります。

だから、 <sup>じゅんび</sup>の準備をする<sup>ひつよう</sup>必要があります。

(3)  <sup>す</sup>が好きになると、 に

なります。そして<sup>しょうらい</sup>将来の  もなります。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1) <sup>てんき</sup>天気が<sup>よ</sup>良いと、 <sup>きぶん</sup>な気分になります。

(2) <sup>わたし</sup>私（ぼく）の<sup>がっこう</sup>学校には、 があります。

それがあると  で、楽しくなります。

(3)  は、さらっとして気持ちいいです。

そんな<sup>とき</sup>時は  に行きたくなります。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1) <sup>きぶん</sup>気分が<sup>よ</sup>良い<sup>とき</sup>時は、 をしたくなります。

(2) <sup>わたし</sup>私（ぼく）の<sup>いえ</sup>家の  は、

ので、ドキッと<sup>ひと</sup>する人も<sup>し</sup>いるかも知れません。

(3)  は、しっとりして<sup>おい</sup>美味しいです。

それはまるで  の<sup>よう</sup>様で  を<sup>おも</sup>思い<sup>う</sup>浮かべます。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1) <sup>はじ</sup>初めて  をした<sup>とき</sup>時は、ドキドキしました。けれども、 ので、とてもうまく<sup>でき</sup>出来ました。

(2) <sup>わたし</sup>私（ぼく）の  は、まるで  ようで、<sup>じぶん</sup>自分でもちょっと<sup>おも</sup>おもしろいなと思います。

(3)  は、 でほっとします。だから、もっと  だと<sup>よ</sup>良いと<sup>おも</sup>思います。





□にことばを入れて、じぶんの<sup>かんが</sup>考えを<sup>ひょうげん</sup>表現しましょう。

(1) 私（ぼく）は  が  の<sup>とき</sup>時に  
ゆったりした<sup>きも</sup>気持ちになります。

(2) 今日<sup>きょう</sup>は  が  でした。  
だから明日<sup>あした</sup>は  な<sup>きぶん</sup>気分になると<sup>おも</sup>思います。

(3)  は、 なので、  
<sup>さわ</sup>触るとさらさらして、 みたいです。

